

第108回 広島数理解析セミナー (2007年度)

Hiroshima Mathematical Analysis Seminar No.108

日時 : 6月8日(金) 16:30~17:30

場所 : 広島大学理学部 B707

講師 : 柴山 允瑠氏 (京都大学)

題目 : 直線3体問題の振動解と周期解

要旨 : 3体問題のより易しい場合として直線3体問題を考えられるが、これはまだよく分かっていない。Xia と Saari は McGehee による3体衝突特異点のブローアップの理論を応用し振動解を得た。今回はそれを2体衝突だけをブローアップした視点からさらに詳細に見ていき、彼らの結果を拡張する。軌道を2体衝突の回数によって記号化し、その記号の両側無限列に対してそれを実現する直線3体問題の解が存在することを証明する。そのことによって新たな振動解と周期解が得られる。

広島数理解析セミナー幹事

池島 良 (広大教育) ikehatar@hiroshima-u.ac.jp

宇佐美広介 (広大総科) usami@mis.hiroshima-u.ac.jp

大西 勇 (広大理) isamu_o@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

川下 美潮 (広大理) kawasita@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

倉 猛 (広大理) kura@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

柴田徹太郎 (広大工) shibata@amath.hiroshima-u.ac.jp

★滝本 和広 (広大理) takimoto@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

平岡 裕章 (広大理) hiraok@hiroshima-u.ac.jp

松本 敏隆 (広大理) mats@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

★印は本セミナーの責任者です